第二中学校だより

正しく 強く 美しく

青梅市立第二中学校
令和５年１１月２８日

ちょっとした気遣い、思いやりを大切に！

校長　青山　隆志

11 月も終わりを迎え、さすがに気温も下がり、初冬らしくなってきました。最近は、新型コロナウイルスに代わって、インフルエンザが流行ってきていますが、生徒の皆さんには、しっかりと睡眠、栄養に気を配り、手洗い、うがいを心がけて、体調を崩すことの無いように生活してほしいと思います。

◎　ふれあい月間

11 月はふれあい月間であり、いじめアンケートなども実施しましたが、ふれあい月間に限らず、いじめ、暴力などは決して許されるものではありません。いつも言っていることですが、二中では常に毎週がふれあいウイーク、毎日がふれあいディであってほしいと思います。これからも、お互いに思いやりの気持ちを大切にして優しさを忘れずに学校生活を送っていきましょう。

◎　江戸しぐさ

思いやりと言えば、生活の中で互いを気遣う何気ない様子を表す「江戸しぐさ」という言葉があります。時々、マスコミなどでも取り上げられますので、聞いたことのある人もいるかと思いますが、「江戸しぐさ」とは、江戸時代、人口の多い江戸の町の庶民が、普段の生活の中から自然に身につけたマナーのことで、「傘傾げ（かさかしげ）」「肩引き」「腰浮かし」などが有名です。

「傘傾げ」とは、傘をさしてすれ違うときには、互いに傘を傾け合ってぶつからないようにすること、「肩引き」とは人とすれ違う時には、肩を引いてぶつからないようにすること、「腰浮かし」とは混んできたら腰を上げて詰めあって座ることです。

「江戸しぐさ」は現代でもそのまま通用する素晴らしいマナーです。実際、「江戸しぐさ」という言葉を知らなくても、生徒の皆さんを含み、日本全国いたるところで、無意識に「江戸しぐさ」を実践している人は多いと思います。

◎　ちょっとした気遣い

現代では、江戸時代以上に人口も増え、人が大勢行きかうところでは様々なトラブルが起きています。東京駅では人と人とがぶつかって、週に５，６人が旅行者救護センターに運ばれることも珍しくないそうです。中には、点字ブロックの上で立ち止まっていたり、荷物を置いたりしていて事故になることもあるそうです。時には重傷者も出るそうで、スマホや車輪付き旅行鞄の普及と関係があるのではとのことですが、要は自分のことに気をとられて、他人への配慮が欠けていることに問題があるようです。「江戸しぐさ」のような「ちょっとした気遣い」で防げた事故も多いのではないのでしょうか。

◎　私たちも！

私たちも校外学習や修学旅行などで公共の場所に集合する時などには、点字ブロック上をふさがないようにすることはもちろんのこと、ブロックの周囲も余裕をもって空けるなど、ブロック上を安全に歩行できるように気を配りたいものです。

生徒の皆さんには「江戸しぐさ」のように、日頃、相手の立場に立って考えた行動ができているか、ぜひ振り返ってみてほしいと思います。